

ソフィア・コッポラ監督最新作 『The Beguiled』(原題) 第70回カンヌ国際映画祭 コンペティション部門 監督賞 & 第70回記念名誉賞受賞!

株式会社東北新社(東京都港区・植村 徹社長)が提供、STAR CHANNEL MOVIESとして日本公開を予定している『The Beguiled』(原題/読み『ザ・ビガイルド』)が第70回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され、ソフィア・コッポラ監督が監督賞を、また本作出演のニコール・キッドマンが第70回記念名誉賞を受賞しました。

1999年に公開された監督デビュー作『ヴァージン・スーサイズ』以来、『ロスト・イン・トランスレーション』(2003)、『マリー・アントワネット』(2006)、そして『SOMEWHERE』(2010)などの注目作を発表し続けてきたソフィア・コッポラが、最新作『The Beguiled』で挑んだ今回のカンヌ国際映画祭。公式上映にはニコール・キッドマンをはじめ、キルスティン・ダンスト、エル・ファニング、コリン・ファレルら、豪華キャスト陣が監督とともに集結しました。

原作となったトーマス・P・カリナンの小説「The Beguiled」は、南北戦争期のヴァージニアの男子禁制の女学園に、負傷していた北軍兵士を秘密裏に迎え入れたことが驚くべき事態に発展していくさまを描く物語です。第70回記念名誉賞を受賞したニコール・キッドマンはこの女学園の校長役を演じています。

ドン・シーゲル監督、クリント・イーストウッド主演の『白い肌の異常な夜』(1971)と同じ原作を、ソフィアは女性の視点から「女性のダークさ」で魅せる作品に仕上げています。

前述のソフィア作品全てに関わってきた当社がお送りする、新たなソフィア・コッポラの魅力にぜひご注目ください。



左から、コリン・ファレル、キルスティン・ダンスト、エル・ファニング、ソフィア・コッポラ、ニコール・キッドマン、ユリー・ヘンリー(P)、アンゴリー・ライス、アディソン・リーク
©KAZUKO WAKAYAMA

■『The Beguiled』(原題)

監督：ソフィア・コッポラ

出演：コリン・ファレル、ニコール・キッドマン、キルスティン・ダンスト、エル・ファニングほか

提供：東北新社 STAR CHANNEL MOVIES

©2017 Focus Features LLC All Rights Reserved

「STAR CHANNEL MOVIES」とは、プレミアム映画専門チャンネルのスターチャンネル(BS10)が映画本来の魅力の詰まった良質の作品を世界中から厳選して、映画ファンにお届けするものです。

東北新社会社概要

代表者：植村 徹

設立：1961年4月1日

資本金：24億8,700万円

事業内容：総合映像プロダクション

<http://www.tfc.co.jp/>

今冬公開予定!